

今週の感染症発生動向

- ◆ インフルエンザの流行期*に突入(滋賀県)
 ◆ 水痘が増加傾向

★一類～五類全数報告感染症の発生状況（第52週）

- ・一類感染症---報告はありません
- ・二類感染症---結核 2名
- ・三類感染症---報告はありません
- ・四類感染症---デング熱 1名（感染地域：フィリピン、推定感染経路：動物・蚊・昆虫等）
- ・五類感染症---報告はありません

★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況（先週との比較、定点当たり患者数）

下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(694名)より減少し、今週は548名となっています。今週、増加した疾患はインフルエンザ、水痘等で、減少した疾患は、感染性胃腸炎、A群溶レン菌咽頭炎、RSウイルス感染症等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

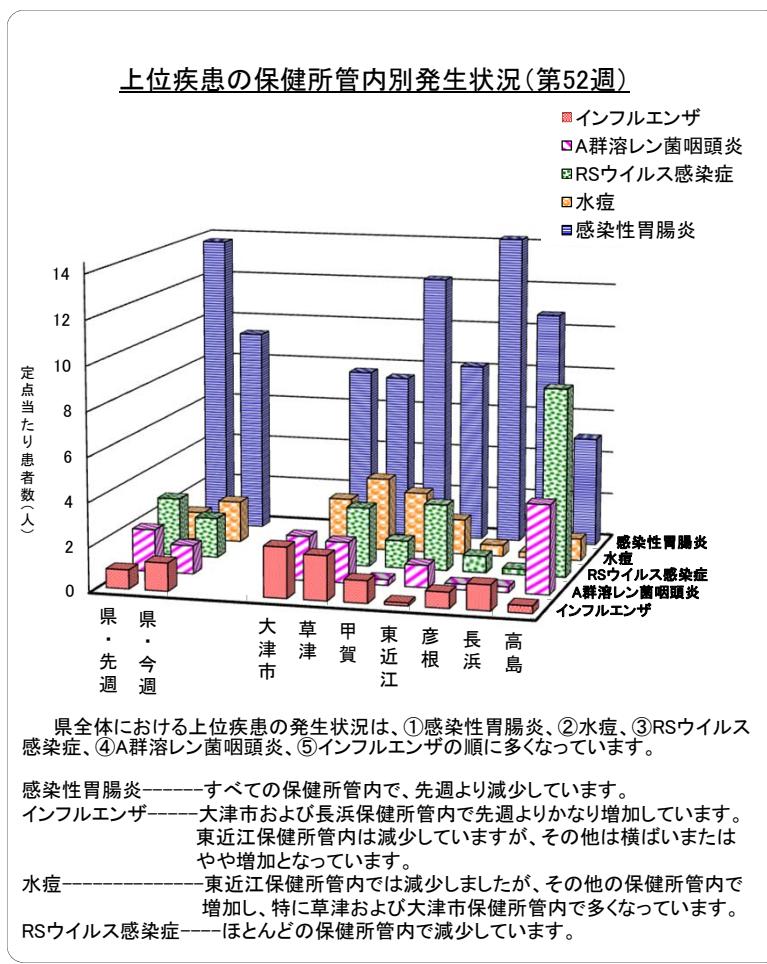
また、インフルエンザ入院サーベイランスにおける、インフルエンザの入院患者の届出はありませんでした。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」に基づく警報および注意報の発生基準値を超えた疾患および保健所管内は下記のとおりです。

警報---感染性胃腸炎(警報開始基準値 20、警報終息基準値 12) 甲賀保健所および彦根保健所

A群溶レン菌咽頭炎(警報開始基準値 4、警報終息基準値 2) 高島保健所

* インフルエンザの定点当たり患者数が1.26となり、流行の目安となる「1」を超えるました。



1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出ことになります。このことを全数報告といい、滋賀県内で発生している一～四類および五類感染症の発生状況を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成24年累積報告数		平成23年累積報告数 ^(*1)		平成22年累積報告数 ^(*2)	
		滋賀 (52週)	全国 ^(*3) (52週)	滋賀	全国 ^(*3)	滋賀	全国 ^(*3)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	254	28,763	338	31,467	251	26,866
三類感染症	コレラ	0	3	0	12	0	11
	細菌性赤痢	0	213	5	299	2	235
	腸管出血性大腸菌感染症	37	3,746	71	3,938	66	4,134
	パラチフス	0	23	0	23	1	21
四類感染症	E型肝炎	0	116	0	61	0	66
	A型肝炎	1	158	0	176	3	347
	オウム病	0	6	0	13	1	11
	つつが虫病	1	428	1	461	2	407
	デンゲ熱	2	220	1	104	2	244
	マラリア	2	73	0	78	0	73
	レジオネラ症	10	892	12	819	10	751
五類感染症	アメーバ赤痢	13	925	2	814	7	843
	ウイルス性肝炎	4	233	1	249	3	221
	急性脳炎	3	349	1	259	0	242
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	181	2	136	2	172
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	242	2	198	3	122
	後天性免疫不全症候群	9	1,406	6	1,523	1	1,553
	ジアルジア症	1	71	1	68	1	77
	梅毒	1	883	6	827	9	621
	破傷風	0	116	1	114	0	106
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	91	0	73	2	120
	風しん	12	2,353	2	374	5	87
	麻しん	1	293	1	443	1	447
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	0	1	9	37	0	59

* 1: 感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月現在)。

* 2: 感染症発生動向調査事業年報確定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月)。

* 3: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症の発生状況を示します。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。
(患者報告数=定点当たり患者数×定点数)

(1) 疾病別・週別発生状況(平成24年第47週～52週、11/19～12/30)



* : 平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり患者数)を掲載

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第52週、12/24～12/30)

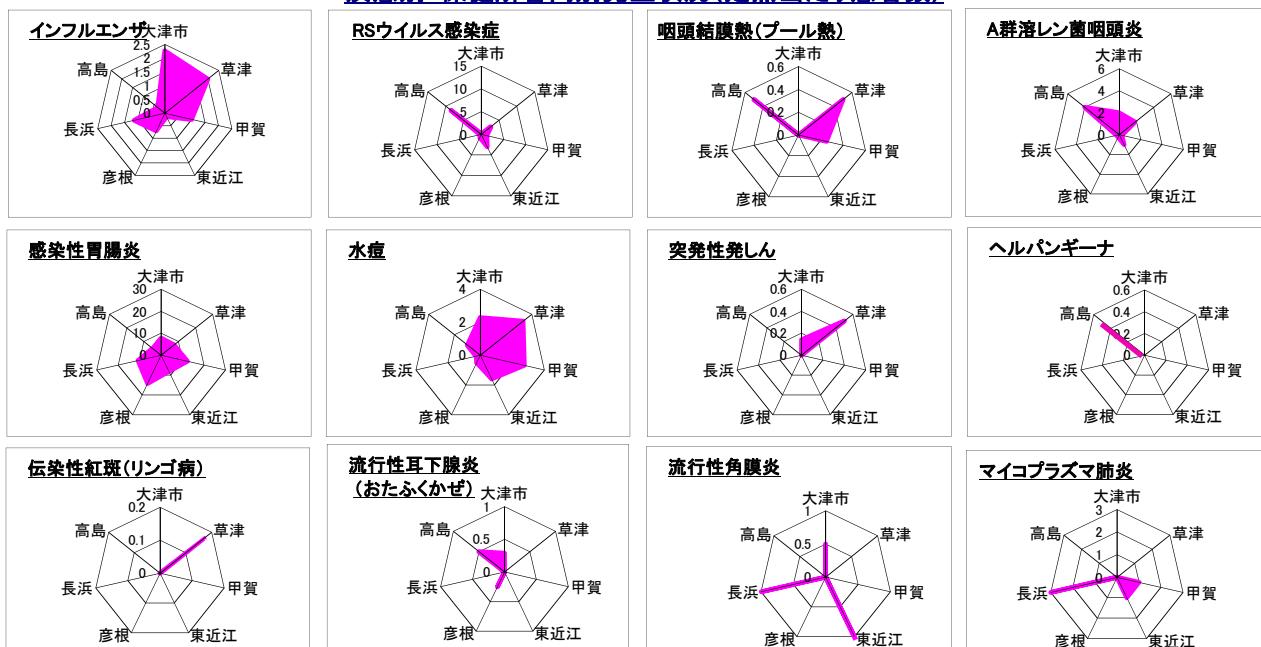
疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							疾患別発生状況(県)	
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	1.26	2.27	2.00	1.00	0.13	0.71	1.14	0.33	■
RSウイルス感染症	1.81	0.14	2.67	1.25	3.00	0.75	0.25	8.50	■
咽頭結膜熱(プール熱)	0.16	0	0.50	0.25	0	0	0	0.50	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.28	2.00	1.83	0.25	1.00	0.25	0.25	4.00	■
感染性胃腸炎	9.34	7.71	7.50	12.25	8.20	14.25	10.75	5.00	■■■■■
水痘	1.88	2.29	3.33	2.75	1.60	0.50	0.25	1.00	■
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	
突発性発疹	0.13	0.14	0.50	0	0	0	0	0	■
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.03	0	0	0	0	0	0	0.50	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.13	0.29	0	0	0	0.25	0	0.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.38	0.50	0	0	1.00	0	1.00	0	■
細菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.71	0	0	1.00	1.00	0	3.00	0	■
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
インフルエンザ(入院)	0	0	0	0	0	0	0	0	

赤・太字 は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。

青緑・太字 は注意報発生基準値を超えています。

0 2 4 6 8 10 12 14
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



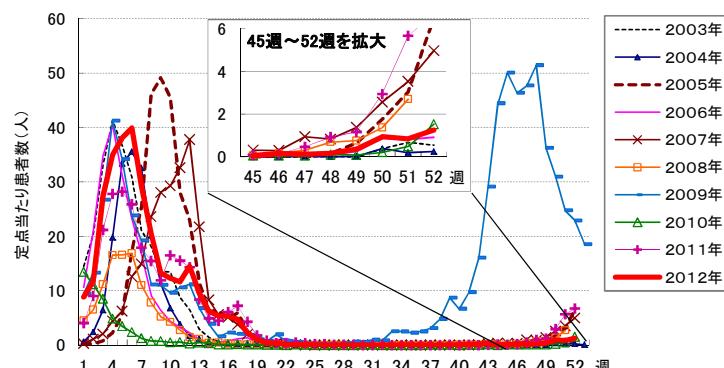
(3)今週の発生状況

< A群溶レン菌咽頭炎 > 大津市および高島保健所管内では横ばいですが、その他の保健所管内では減少しています。
 < 突発性発疹 > 大津市、草津および彦根保健所管内で減少しています。
 < ヘルパンギーナ > 報告があったのは、高島保健所管内のみで、先週の1/6に減少しました。

3. その他

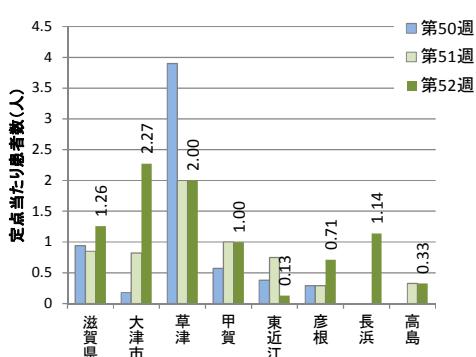
インフルエンザの発生状況

滋賀県(平成15年～平成24年第52週、H13～H24.12.30)

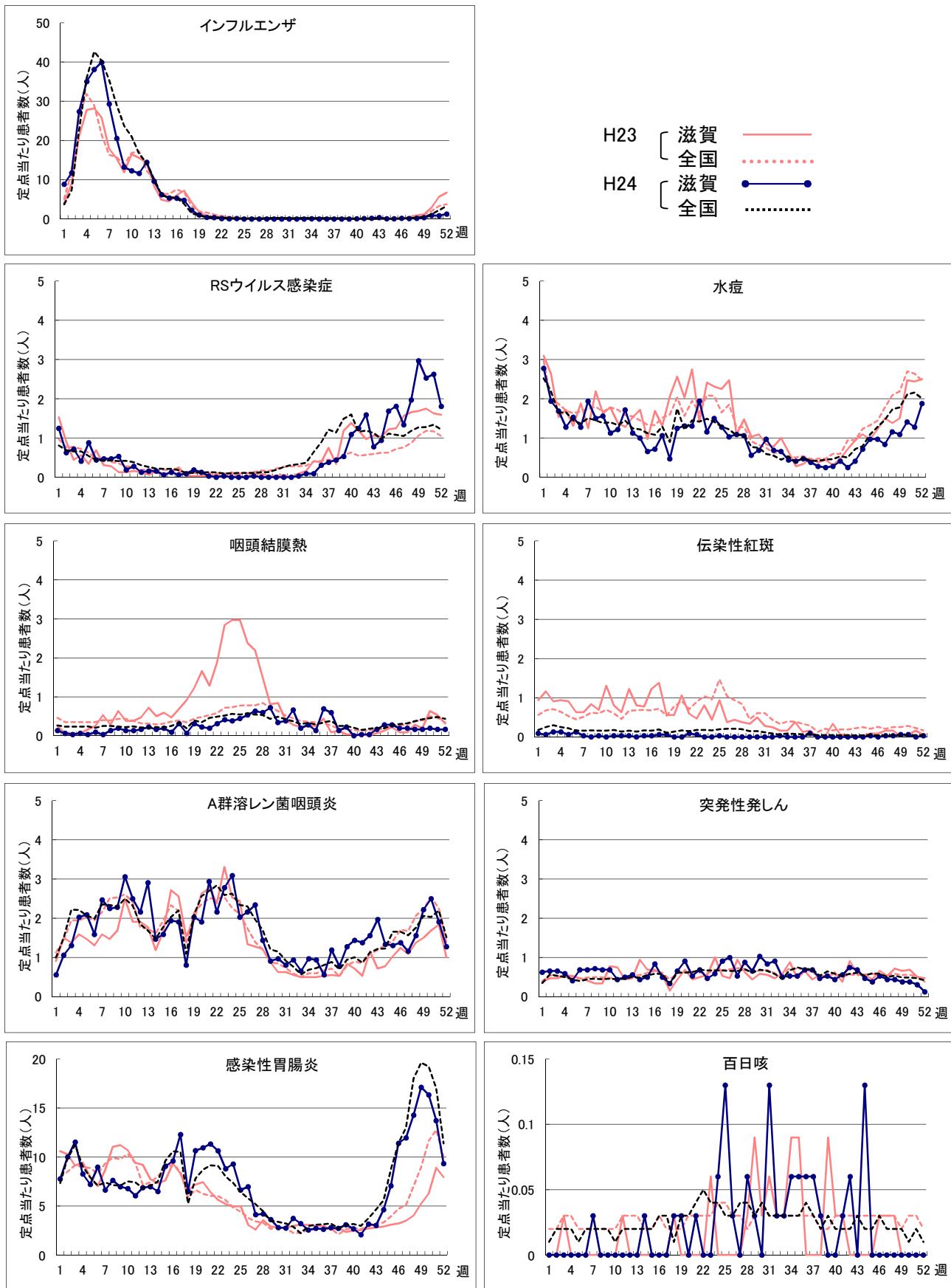


インフルエンザの保健所管内別患者数

滋賀県(平成24年第50週～52週)



疾病別定点当たり患者数(平成24年第52週、H24.1.2～H24.12.30)



疾病別定点当たり患者数
(平成24年第52週、H24.1.2～H24.12.30)

H23 滋賀
全国
H24 滋賀
全国

